

マングローブ林立ち枯れ被害地巡視記録簿

実 施 日 令和 8 年 2 月 5 日（木）
 実 施 場 所 浦内川（上原国有林 103 ろ、西表国有林 136 ろ、に 1 林小班）
 巡 視 者 小野、田中、津波、赤星

	NO. I	NO. II	NO. III	NO. IV
立ち枯れの状況の変化	拡大等変化なし。	拡大等変化なし。	拡大等変化なし。	拡大等変化なし。
地盤の状況の変化	大雨による土砂の流入が進行している。	大雨による土砂の流入が進行している。	大雨による土砂の流入が進行している。	大雨による土砂の流入が進行している。
周辺植生の状況の変化	陸生植物の侵入等変化なし。	林縁部にアダンの侵入が確認される。	林縁部にアダンの侵入が確認される。	アダンの侵入が進行している。
稚樹の発生状況の変化	区域内に数本程度が見られるが変化なし。	区域内に数本程度が見られるが変化なし。	区域内に多く見られ増加している。	稚樹の発生なし。
そ の 他	大部分が腐朽倒木等により消滅傾向にある。	大部分が腐朽倒木等により消滅傾向にある。	大部分が腐朽倒木等により消滅傾向にある。	大部分が腐朽倒木等により消滅傾向にある。 竹富町貸し付け水道パイプの通過あり。

浦内川マングローブ林立ち枯れ被害箇所

定 点 撮 影



調査年月日

令和8年2月5日

西表森林生態系保全センター



浦内川
(被害地No. I)

全景

浦内川
(被害地No. I)

P1 上流川から

・青タグNo.88(オヒルギ)より川側に位置する塩ビパイプ箇所より撮影



浦内川
(被害地No. I)

P2 山側-上流側から

・青タグNo.87(オヒルギ)より山側に位置する塩ビパイプ箇所より撮影



(被害地No. I)
被害箇所状況

立ち枯れ木の根元部では腐食が進み、倒伏、流出の可能性はある。また、新たな立ち枯れ木は確認されない。



(被害地No. I)
被害箇所状況

山側においては、シャコ塚、アダンが見られ、陸地化が懸念される。



(被害地No. I)
被害箇所状況

オヒルギ、メヒルギ、ヤエヤマヒルギの幼木が見られ、稚樹の発生、定着も見られる。



(被害地No. II)
被害箇所状況

被害地内で目視できる立ち枯れ木は写真左の1本のみとなっており、その他立ち枯れ木は倒伏、流出している。
新たな立ち枯れ木は確認されない。



(被害地No. II)
被害箇所状況

倒伏し、被害地に残存している立ち枯れ木。



(被害地No. II)
被害箇所状況

オヒルギ、ヤエヤマヒルギの幼木や、稚樹の発生、定着が見られる。



浦内川
(被害地No.Ⅲ)

全景

浦内川 (被害地No.Ⅲ)
全景



浦内川
(被害地No.Ⅲ)

P1 上流側から

・ピンクタグNo.3(オヒルギ)より山側斜め下流に位置する塩ビパイプ箇所より撮影

浦内川 (被害地No.Ⅲ)
P1 上流側から
・ピンクタグNo.3(オヒルギ)より山側斜め下流に位置する塩ビパイプ箇所より撮影



浦内川
(被害地No.Ⅲ)

P2 下流側から

・青タグNo.90(オヒルギ)より山側に位置する塩ビパイプ箇所より撮影

浦内川 (被害地No.Ⅲ)
P2 下流側から
・青タグNo.90(オヒルギ)より山側に位置する塩ビパイプ箇所より撮影



(被害地No.Ⅲ)
被害箇所状況

被害地内の立ち枯れ木に折損が見られ、根元部では腐食が進んでおり、倒伏、流出が確認された。また、新たな立ち枯れ木は確認されない。



(被害地No.Ⅲ)
被害箇所状況

被害地内には一部アダン等の陸生植物の侵入が確認され、陸地化が懸念される。



(被害地No.Ⅲ)
被害箇所状況

倒伏、折損した被害木が現地に残存し、腐朽が進んでいる様子が見られる。被害地内に稚樹の発生、定着が多く見られ、生育は良好である。



(被害地No.IV)
被害箇所状況

被害地内はアダンの浸入が著しく、新たな立ち枯れ木は確認されていない。



(被害地No.IV)
被害箇所状況

唯一残存している立ち枯れ木だが、アダンが覆いかぶさり、根元部に腐朽が見られる。



(被害地No.IV)
被害箇所状況

倒伏した立ち枯れ木にアダンが覆いかぶさり、根元部から腐朽が広がっている。
